

# UTA会 だより



第5回 U T A 会風景

## ■ 幹事長の挨拶

うれしい愛のTシャツが届いていることでしょうね。それ以外、このところ余り明るいニュースは聞きませんが、早いもので今年も四カ月が過ぎました。その間、今迄、私の人生で、ニュースで見たことも経験したこともない天変地異を、テレビや新聞等の報道で知りました。映像から、学んで

きたことを通して、いかに自然に對して人間が無力かを、現実として見せられた気がしました。突然に天変地異に遭遇する人々の姿が自分の姿に重なりました。

私は学んできたつもり、瞑想も以前の自分から比べたらやるようになった、少しは気付きはあったはず等々、そんな自己評価も全く自分に甘いものでした。甘い学び方の自分が見えてきました。天変地異で見せられる現象の波動を感じることもなく、ただ驚き、無残な姿に恐怖するだけでした。死後の自分を、今こそ感じていかなければならない時期になっても、私にはまだまだ未知の世界です。おそらく息もできない状態なのだろうと想像するしかできない現状です。

学んできたのに、学んできたはずなのにと、無駄に過ぎた膨大な時間を思い、本当に自分を粗末にしてきてしまったと思うばかりです。これからは自分のための日々にしていこうと心から思いました。あと、どれぐらいあるかわからないけれど、まだ残された時間はあります。

これから体験する意識の世界の現実を知らせてもらったことを無駄にすることなく、これを機に、私に残された時間を自分のために使おうと決意しています。そして、今、UTA会としてセミナーがあることが有難く感謝です。これからの、一回一回のUTA会の参加も、その思いを大切に臨みたいと思います。

久保明子

## 会員からのお便り

このコーナーは、皆様とUTA会を繋ぐページです。皆様の体験談や手記、ご意見などを、お気軽にお寄せください！

### ■体験談

#### ▼私の体験談

京都府 山本 清

平成三年三月、親戚の方より三万円で、子犬を分けて頂きました。可愛い子犬で、娘が、アイコと名付けてくれました。近所の人も毎日散歩していると、可愛いと喜んでくれました。

約十六年間、犬と共に暮らして、山、畑にも連れていき、自動車にも乗せて、皆さんが「可愛い」と言ってくれました。十六年飼って死亡致

しました。その間、一匹の子犬が生まれました。その犬も、今、元気で生きています。私は、二ヶ月間飼ってやり、隣村の人にやりました。今でも、何年見なくても、私の顔、声を憶えています。可愛いです。その犬の名前は、ジョーと付いています。

今現在は、人間の子供を虐待している母親が多いようです。毎日、新聞・テレビ等で聞かされています。人間は、なんとバカです。田池先生も、犬のお話をよくしてくれています。私も、三河三谷セミナー、琵琶湖セミナー、日帰りで、セミナー参加しました。

毎日、犬の散歩が出来るので嬉しくて、嬉しくて、その心の中にあります。

私も八十歳迄は、元気で暮らしていましたが、平成二十年六月、市

の検診で、胃癌が発見され、続いて肺癌になり、平成二十一年に八回も入院を繰り返しています。平成二十三年一月二十七日、熱を三十七度出して急に、入院致しました。二月十五日に元気に退院出来ました。約一年三ヶ月、酸素ボンベの生活でしたが急に良くなり、先生、看護婦、家族もビックリです。

入院中は、田池先生の「意識の流れ」や歌を聞いて、私も反省をしていると、だんだん病気が良くなり、無事退院することが出来ました。

田池先生、塩川香世さんに感謝です。ありがとうございます。五月セミナーも参加出来る、皆さんと会うことが楽しみです。

皆さん、ありがとうございました。

## ▼お母さんの反省を通しての

## 体験談

岐阜県 浅野淳子

母は、厳しい父親、母親の家で生まれました。年頃になった母にお見合いの話があちこちからあったそうです。でも、良い、とても良い所の話は、昔は血統を調べるんです。今は、どうでもいいことなんです。その方は、そのことで上手に中止したそうです。やっぱり遠い親類の方が安心とかで、母がお嫁に来たそうです。

結婚式が終わった数日後に、主人となる人が、どういう人だったのかわかり、母の実家は大ショックとなりました。母もショックを受け入れて、たいへんな思いで、でも姑もい

ましたから、そのまま毎日を過ごしていました。でも母の実兄が実家とは別に小さな家を用意するから、姉と私まで生まれていましたが、実の兄が帰ってくるように言いました。でも、世間のこともあってか、辛い思いの中で……。父親には、結婚する前から年上の女の人（愛人）がいました。お父さんは、女の人と老人になってもいっしょに生活してました。家の中では、いじわるな姑で苦労しました。

私の生まれ育った所は、大昔は、花屋だったのでしょうか。あちこちにいろいろな花、木、柿の木、いちじく、ゆずの木、バナナの木（でも木は大きくても実はなりません）、サクランボ、ブドウ、すもも、梅、グミの木など、ほとんど実がなる木で、小さい頃には一杯ある中で食べ放題

でした。その後、兄弟は、四人になりました。

私は、竹やぶのある家の東、南が、とてもいやだったのです。蚊、ブイが一杯なんです。すごい大木が東、南にはあっちこちにあって、本当にいやな思いでした。お母さんは、朝早く田畑に行つて、夕方しか帰ってきません。おばあさんが私達を育ててくれました。私は、ヤギの乳を飲んでいました。でも生まれたては、お母さんのお乳を飲んでいたようです。ヤギは家にはいないから、ヤギの乳は出店の近くの家に買いにいきました。時々は田畑に連れていってくれて、ムシロの上でお手玉のような物とか、ベビーふとんの上で遊んでいました。時間になると母が来て、又すぐ田畑に行つてしまいました。家の中では、柱と柱にユリカゴが作っ

であって、それもすぐく大きな物でしたね。冬は、囲炉裏いりがあり、ふとんをかけてその中にいました。

おばあさんが、食事の用意をするときは、ユリカゴに長い紐をつけて、ひっぱって顔を見たりしていました。おばあさんが好きでも、キライでもなく、食事を食べさせてくれますから……。家の前には、すぐく大きな柿の木があり、おばあさんは、気に入らないと私をその柿の木に縄でかち上げてしまいました。お母さんが帰ってきて解いてくれました。お母さんは、やさしい。お母さんの顔が見たかった。その思いで母の姿を見ると安心したようで、又どこか行ってしまふ。私達はその中で成長していきましました。

私達の頃は、学校は行かなければいけない場所で、勉強など考えなく

て毎日楽しく行きました。遠足があった日、お母さんがバスの前で私が乗って行く姿、私だけをじっと見守ってくれました。その場所は、今もそのままあります。その道路を通るたび、思い出は深いものです。私は、今もなぜもつと幸福なお母さんから生まれなかつたのか、この気持ちには、今も変わりません。

大昔は、村の人達に聞き合わせとかがあったのでしょう。そのとき村の人達は、皆、口をそろえて、父親のことを「とってもいい人」と言いました。「本当にあんなにもいい人いいですよ」、との口ぶりだったそうで、皆様ウソを言っていたんですね。

お友達のお母さんは、とてもものびりと生活していましたが、私の母だけが……。お母さんに会うのがうれしかった。でも、なぜ、私の母は、

苦労ばかりしているのか。私はその頃、母を大切にしていあげたい、私のお母さんだからと一生懸命に母に自分で出来ることをし、母をかばいながらも、お母さんのお手伝いをする年頃になりました。何よりも母を大切にと頭から思い、母の姿を見て仕事をしました。仕事はなんでもここに書くことが出来ないくらい、外にも家の中にも一杯ありました。春、夏、秋、冬と、ちよつと言ってみれば、ヒヨコを育ててニワトリにして卵を売ったり、おかいこさんを育てたり、トウガラシを赤くなったのをちぎったり、トウガラシ（ソースの基になる）を色分けしていろいろと袋に入れたり、エンドウ（今は、キヌサヤ）を作ったり、まだまだ、いろいろの仕事があるんですが、この辺で……。その頃、私は、とても忙

しい毎日となり、でも母がそばにいてくれるならと、その仕事をなんとかやり続けました。私のお母さんは、誰よりも苦悩の人生を送っていました。お母さん、ありがとう。でも私にしては、なぜと思うことが……。

母が逝ってしまう頃、なぜなの、母のそばにいてあげたかったのに。でも弟夫婦の手前とか、その他、兄弟のこともあつて、いろいろとあり、とてもお世話が、私には出来なかつた。もうその頃は、歩くことも出来なくなり、少しだけ立っていた時、私は、母の背中をしっかりと抱きしめました。それが最後となりました。心の中で、お母さんと私が抱きしめた時、お母さんは温かかった。今思うと、なぜ、たった一人で、誰にも看取られなくて。なぜ、お母さんは、一人なの。どんな思いで帰ってしまったの。

たの。なぜ、私がそこにいなかったの。お母さん、ごめんなさい。許してください。お母さん、ありがとう。

もつともつと書きたいけど、まだ一杯ありますが、なぜか手が震えて書くことが出来ません。今、字が書けません。少しだけでも、今後は、私の子供、たった一人の。お母さんと同じく、せっかく子供が生まれたのに、私には、（なぜか文章もどうかなってしまい、体までもが震えて今書くことが……なんとか書こうとしているのに）仕事がドンドン一杯ありまして、ミルクをあげるその暇さえもなく、赤ちゃんなんか寝ていれればいいとの思いで、私は仕事ばかりしていました。その後、大きな間違えがあったことが分かった時、その時は、もう遅かったのです。それはいろいろ書くことが一杯あります。で

も、この辺で、ほんの少しだけ、車庫に小さな部屋が、物置き小屋でした。そこにベビーふとんをわざわざ持っていく、その子を置いてしまい、心配な時もありましたが、時々見に行きました。でもやはり、私が仕事をしている所に、顔が見える所にと一緒にいました。そのことがあったのでしょうか。子供は、今はニート（ひきこもり）になってしまい、私はそのぶん、何倍も苦勞しています。もうどうにもなりません。

ただ、私は、心の中で、謝るしかなくて、どれだけ心を向けても、もうダメですね。ごめんなさい。私を許してと心から思いつつも、つい口は、とつてもすぐく、嵐のようです。私の性質は、どんどんと変わりました。皆様、ごめんなさい。本当に、ごめんなさい。

今の生活の環境によっても変わってしまっただけです。

この辺で、元の自分、私になりた  
い。元は、こんな私ではなかった。  
何とかしたい心、思いで一杯となり  
ました。自分一人でしなければ……。

私が私でなくなってしまう今、  
まだ一杯書くことが。でも今書くこ  
とが出来ません。皆様、こんな私を  
ごめんなさい。

まだまだ書くことが一杯ですが、  
田池先生の学びは、本当に、学びは、  
(本、ホームページ)とても不思議な  
体験が一杯あります。長い年月を通  
してです。ありがとうございます。  
書中にて失礼致します。文章にもなっ  
ていないから、ごめんなさい。

皆様にも本当に、ありがとうございます  
います。

■最近頂いたメールより

大阪府 Iさん

いつもお世話いただき、ありがと  
うございます。

本日、無事に「愛」のTシャツが  
届きました。

ありがとうございます。

おかげで、今日はとてもうれしい  
一日になりました。

UTA会幹事の皆様、ありがとう  
ございます。

奈良県 Nさん

いつもお世話様になります。「愛の  
Tシャツ」送って頂いて有難うござ  
いました。

愛の字シルクプリント良いプリン  
トして頂いて、これに心も準じて行  
きたいと思えます。

嬉しいです。お世話様になりまし  
た。

この度の地震に東北関東の方に心  
よりお見舞い申し上げます。アルバ  
ムを見て、宮城県、岩手県のこの方  
も来てた、あの方も来てたと、案じ  
ておりましたけれど、HPに天変地  
異で肉体を傷つけるとか、命を落と  
すとか、……書いてありましたので、  
少し安堵しながら心を見ております、  
と共にアトランティスで地割れの中  
に、落ちて行った自分の心をもっと  
もっとしっかりと不安と恐怖を供養  
していかねければと、今しっかりと  
受け止めております。この天変地異

でお母さんの心を、田池留吉の世界をしつかりと、心の中に、盤石ばんじやくにしていかなければと今かみしめております。

何時も何時も送って頂いて、有難う御座います。今後とも宜しくお願い致します。

宮城県 Uさん

大震災の後に電話を下さっていたとのこと。ありがとうございます。

肉的には大変ですが、震災前より気持ちには軽いです。普通の生活が実は地獄だったというか、余計なものが削ぎ落とされたというか。自然淘汰されるってこういうことなのかなと思います。意識の流れの中の一文「すべてを失った後に残るものがある」でしたっけ!?

何があってもセミナーには行きますよ！（というか職場が津波で水没崩壊したので、仕事を気にせずセミナーに行けるんだなこれが）

へドロと瓦礫がれきの山のゴーストタウンは二五〇年後のNYのよう。私は強く生き抜きます。何度かの転生をクリアしながら。

今回は田池先生が生きているうちでよかったです（笑）。



【体験談・感想文等の募集】

UTA会では、体験談（手記）やUTAブックから出版されている本を読んだの感想文などを募集しています。

頂いた原稿は、このコーナーなどで皆さまに紹介していく予定です。

原稿は、下記UTA会の原稿受付専用メールアドレスまで、Eメール、またはEメールの添付として送っていただければ助かります。もちろん、郵送でも受け付けいたします。たくさんのご応募、お待ちしております。

【送り先】

原稿受付専用メールアドレス：info@utakai.net

郵送での宛先：〒819-1136 福岡県糸島市美咲が丘 2-5-1

UTA会 中村康一



## メッセージ

UTA会のホームページに掲載しています『私はあなた、あなたは私、ひとつ』のメッセージ、六三から七五までです。

六三、肉体細胞に、優しい思いを向けましょう。皆さん、肉体細胞をどのように思っていますか。

普段、何気なく動いているかもしれませんが、あるいは、身体が不自由であったり、肉体細胞の一部が壊れていたりしているかもしれません。

今、元気な人も、そうでない人も、ご自分の肉体細胞に思いを向けながら、優しい思いを向けながら、日々の時間を使っていただく。

ただただ、優しい、優しい思いだけが流れてきます。

肉体細胞からは、あなたを苦しめ

る思いなど、何一つ流れてきません。

そのことを、お母さんに向ける瞑想から、感じていってください。

幸せに包まれています。肉体細胞に支えられて、私達は存在していることを、心で感じられるようなあなたであってください。

六四、瞑想は喜びですと伝えました。

瞑想をできる時間があることは喜びという思いを込めています。

瞑想ができるゆったりとした時間、ゆったりとした心、そういうものが整えられていることが、すでに喜びです。それを十分に満喫してください。

苦しい中、心を繋いできたこと、自分を繋いできたことを、瞑想をする時間の中で感じていきましょう。

苦しいから、狂ってきたから、そ

して、そんな自分をどうしても見つめたいから生まれてきたことを、瞑想をする時間の中で確認していきましょう。

六五、毎日、自分の時間の中で、瞑想を続けておられると思います。

自分に用意しているものを活用して、喜びを感じていきましょう。

自分の意識の世界が変わっていけば、見るもの聞くもの違ってきます。瞑想をできることを楽しむ、それを第一にして、中心にして、生活が回っていく、そこには、ただ喜びが育まれていきます。

そうして、学びの友と集えるUTA会で、互いに近況を話し合えば、また喜びが生まれ、良い意味での刺



激を受けるのではないでしょうか。

真実の世界を学ぶために、生まれてきました。それ以外の目的はありません。その点を、どうぞ、自分の中ではつきりとなさってください。

六六、肉がある今、その優しい肉とともに喜びをかみしめていきましょう。

肉体細胞は優しいです。そして、優しいだけではありません。しっかりと真実の方向を示してくれています。優しく、そして、しっかりと心に伝わってくる肉体細胞の思い、その思いとともに、田池留吉、アルバート、その世界、母なる宇宙を思える今が、本当に幸せだと思えます。

肉とともに歩める喜び、肉を持つ今は、その喜びと幸せを存分に味わっ

ていけます。ありがとう、肉体細胞にそう思いを向ければ、ありがとう、嬉しいね、そんな思いが返ってくる、そんな嬉しい喜びの循環の中に自分をいざなっていていける、それは、ただひとつ、アルバートを知る心があるからです。

六七、宇宙は広いです。宇宙は喜びを待っています。

どうぞ、皆さん、宇宙を思い、瞑想を続けていってください。

はい、肉の生活の中で、宇宙を思うことを、本当に喜びとしていってください。

肉のあなたは、いずれ消えてなくなっていくのです。しかし、あなたの世界、宇宙は、これからどんどん変わってまいります。

苦しい宇宙達があなたに伝えてきます。天変地異を通して、あなたの中に衝撃を伝えてきます。どうぞ、それを素直に真摯しんしに受け止めていけるあなたであってください。

今世のチャンスを、しっかりと自分の心で活かせるあなたであってください。宇宙からのメッセージでございました。

六八、日々、瞑想を続けていく中で、今世という時、千載一遇のチャンスであることを心で実感されていますか。

あなたが、まだそこに至っていないければ、どうぞ、そう実感できるようになってください。100%、地獄の奥底の底から出てきた意識であることを自覚していってください。

例外はありません。100%です。その自覚があれば、千載一遇のチャンスというのは、もう納得、納得です。これほどの愛はありません。これほどの優しさはありません。

確かに、その人その人のプログラムがあります。今世の計画というものがありません。その自分の計画を忠実に遂行していきましよう。そうすることが愛であり、優しさです。

宇宙にへドロを垂れ流してきたことが実感できることが喜びです。だからこそ、宇宙を変えていけるパワーが漲みなぎってくるのです。喜びこそ真なるパワーです。田池留吉を思うということは、自分を思うこと、自分の中の宇宙を思うこと、それは決して頭では分からないことです。

六九、田池留吉が今世、私達に何を伝えてくれたのか、しっかりとそれぞれの心で学んでください。

今世、幸いにも学びに集えた意識達よ、どうぞ、ご自分の転生に心を繋いでいけるようなこれからの数年であってください。

自分の中の思いと一致できるような肉の時間を過ごしていただく。い。

すでに伝えていきますように、意識の流れは次元移行に向けて、肅々しやくしやくと流れています。

今世に意識の目覚めをいただいた私は、田池留吉の心とともにこれからもずっと存在してまいります。

そのためには、田池留吉の心、肉の部分に近い心も含め、私は私でまだまだ今世、学んでいかなければなりません。

私は私の勉強を通し、自分の中の次元移行を進めていっています。そして、来世、アルバートの肉と出会うその瞬間に備え、学び続けることを自分に伝えていきます。

すべては喜びの道です。宇宙とともに歩いていく喜びをかみしめながら、私は存在しています。そして、ともに次元を超えていきましよう。私は、これからもメッセージを送ってまいります。

七〇、まずはゼロ歳の瞑想がきちんとして、母を思うことが無条件に嬉しい、幸せ、まずはそこからでしょう。

それを飛ばしては何も始まりません。

日々の生活のリズムの中で、淡々

と瞑想を続けていくことです。

心を自分の次の転生に繋ぐこと、それを最重要課題として、今世の残された時間を大切になさってください。

次元移行の軌道に一人でも多くの方が乗れるように、田池留吉、アルバートはいつまでも待っているでしょう。

他力の道ではなくて、自己確立の道、真に喜びの道の一步を歩み出してください。

七一、ゼロ歳の瞑想をしつかりとやってください。ゼロ歳の思いで、自分を見つめていってください。母の温もりの中にあつたことを、しつかりと思い出してください。

母の意識は間違はなく真実を伝え

てくれました。そして、一人の例外

もなく、その母の意識に徹底的に歯向つてきたのです。一人の例外もありません。この地球上に肉を持った意識はすべてそうです。イエスであろうが仏陀であろうが、その意識はすべて暗黒の世界に沈んだままです。なぜならば、その意識は、いまだ自

分の本当の姿を知らずに、気付かずにいるからです。そして、彼らを求める思いが、その意識をさらに地獄の奥底に閉じ込めていきます。肉を持って真実に出会うことは難しいです。その事実がはっきりと心で分か

らなければなりません。しかし、今はもはや、間違つた歪んだ情報で満ち溢れてしまっています。

もちろん、イエスや仏陀だけではありません。過去、教祖、開祖と崇め奉られた意識は、その信者達の欲

の思いと通じ合い、自らの苦しみから抜け出すことは本当に難しいのです。

どうでしょうか。幸い私達は、今世、肉を持って学びに繋がりました。田池留吉、田池留吉の世界と欲は絶対に関わらないことを学ぶ絶好のチャンスを得てきました。

肉を持ってきたこと、そして、学びに繋がったこと、どうぞ、ゼロ歳のあなたに戻り、そこをまず喜べるあなたであってください。

七二、自然治癒力についての体験談を募集されています。

肉体的不調、精神的不調により辛い苦しい体験がある人は、どうぞ、この機会に自分の体験を文章にされてはどうでしょうか。

自分の思いを素直に文章にする作業を通して、きつといいお勉強ができるかと思えます。

自分の学びに対する姿勢、取り組み方、その他様々なことに、自分で気付いていかれるでしょう。

そして、何よりもそのような体験を経て、田池留吉、アルバートの世界への信が少しでも強く大きく育んでいかれたならと思えます。

肉体細胞とともに学ぶ喜び、幸せを心にしつかりと感じていけば、自ずと心は広がっていきます。その広がりの中でこれまでに体験された肉体的不調、精神的不調による辛い思い、苦しい思いを振り返れば、きつとまたそこからたくさん気付かれることがあるでしょう。

肝心なことは、自分で行動を起こすことです。いい意味で貪欲になっ

て、今、肉を持っていてる時間を本当に大切にしていってください。

七三、「初めから幸せでした。初めから喜びでした。それが私でした。」

このことが心に響いてくるまで、自分を見つめ、瞑想を続けていきましょう。そして、響いてくればくるほど、さらに自分を見つめ、瞑想を続けていきましょう。

自分の中で、自分を見つめ、自分を語っていけば、必ずどなたもこのメッセージに突き当たります。

それは、みんな初めから幸せだから、初めから喜びだからです。

今の肉を通し、今の環境の中で、精一杯自分を見つめ、自分と語ることで、最大の愛の実践です。

愛そのものの私達が、ずっと愛を

知らずにきたのです。その心の歴史は長く深いです。

「自分にごめんなさい、そして、ありがとう」が言えますか。まずそこから始めていきましょう。

「自分にごめんなさい、ありがとう」が本当に言えるならば、自分を生んでくださったお母さんにも、もちろん言えるはずですよ。

そして、その肉の母を通し、母の思いに触れていけるはずですよ。

さらに、その母の思いは、自分の心を広げてくれます。母の思いをどんどん感じていけば、自分の中から凄まじいエネルギーが出てきます。

瞑想の醍醐味です。たまらない優しさや温もりの自分を感じます。

それが今世のセミナーでした。どうぞ、数少ないセミナーを大切にしてください。

七四、学びは実践です。心を見る、瞑想をする、今だったら死後の自分と対話しようと努める、そういうことを自分で実践しなければ、自分というものは絶対に分りません。

いくらUTA会セミナーに集ってきて、田池留吉の姿を遠くから拝んでも、田池留吉の顔を近くでまじまじと眺めようとも、何度、田池留吉の話を拝聴しようとも、自分の中の他力のエネルギーと向かい合わない限り、自分の現状をどうすることもできないことを知ってください。

自分の心を見て、自分から流れ出すエネルギーを知って、それを本来のものに変えていくきっかけをつかむとか、よしやっつていこうとバカな自分に決意を促すとか、そういうこ

とに、セミナーを役立ててください。ただ来て、みんなとワイワイ楽しんで、それでいいという人もおられるかもしれませんが、しかし、私は何度思ってみても、ただそれだけでは、何とももったいないと思うし、情けない気がします。そう、ただそれだけなら私だったら辛いです。顔が引きつって笑うに笑えない心境です。

私は、幸いにも、約二十年足らずのセミナーの時間、とても充実してきました。だからこそ言えるんです。セミナー会場の時間と空間は、どんなにすぐくて素晴らしいのか。

どうぞ、参加する以上は、それなりの思いで参加してください。もつたないことはやめにしましょう。

七五、UTA会に集う皆さん、どうぞ、心を見ていってください。

瞑想をする時間を持っていますか。心を見て、瞑想をする時間を持っていますか。

瞑想とは喜びです。瞑想とは、あなたの心をしっかりと田池留吉に合わせ、あなたの中をしっかりと見ることです。瞑想の中であなたを感じていってください。その瞑想の時間を持つてください。

あなたの死後はどうでしょうか。田池留吉は語りました。死後のご自分と対話すること、対話してくださいと語ってきました。

たくさんのお母さんの思いが、あなたの心の中に渦巻いていることを知ってください。どうぞ、ご自分と対話していただく。

お母さんの思いを心に聞いて、あ

あなたがあなたに伝えていくんです。

あなたがお母さんから伝えていた  
だいたいの思いを、ご自分に、どうぞ、  
伝えてください。

瞑想をして、死後のあなた自身と  
対話する、そういう時間を大切にし  
てください。

肉はそれぞれに捨て去る時が来ま  
す。

どうぞ、その時、本当にご自分の  
心を愛しい思いで抱いて、そして、  
ありがとう、心からありがとうと思  
える、そんなご自分になっていつて  
ください。



■田池先生と塩川香世さんのホーム  
ページに掲載された自然治癒力につい  
てのメッセージ

一、肉体細胞が伝えている自然治癒  
力、そのほうに心を向けてみます。

はい、私達肉体細胞は、田池留

吉、アルバートの思いを流し続けて  
います。私達には、田池留吉、アル  
バートの本当の心を伝えるそのパ  
ワーがあります。それが自然治癒力  
です。私達には、もともと自然治癒  
力が備わっているのです。肉体細胞  
は喜びです。喜びこそ自然治癒力。  
自然治癒力とは、田池留吉、アル  
バートの温かな、温かな波動の世界  
です。

その自然治癒力は、それぞれの肉

体細胞が余すところなく伝えてい  
ます。しかし、その思いを遮れば、  
肉体細胞は死滅します。また、突然  
変異、いわゆるガン細胞となってい  
くのです。

しかし、ガン細胞とて私達肉体細  
胞なんです。ガン細胞も私達なん  
です。

肉体細胞が突然変異して、ガン  
細胞になったとしても、もともと備  
わっている自然治癒力、すなわち田  
池留吉、アルバートの世界を信じる  
思いが、その突然変異した細胞を癒  
していくことを、あなたはどれだけ  
信じていますか。私達肉体細胞の思  
いに心を合わせる、本当に心を合わ  
せ、心に向け、田池留吉、アルバ  
ートの世界をそこから感じていけば、  
突然変異したガン細胞でさえ、その  
自然治癒力により元の状態になっ

ていくのです。

私達はそのことを伝えたいのです。田池留吉、アルバートを信じるということとは、自分の中の自然治癒力を信じるということです。

自然治癒力は愛。自然治癒力はパワー。ああ、そうです。パワーです。

本来備わっているパワー、愛のエネルギー、それが自然治癒力。私達肉体細胞はそのことを伝えます。肉体細胞に優しい思いを向け、肉体細胞の流すエネルギーと融合していけば、自然治癒力は、必ず、必ず回復していきます。そしてそれが、傷ついた細胞、または変異した細胞に作用していくのです。とても医学の世界では考えられないことが起こります。田池留吉、アルバートの世界、そこから流れる波動の世界、そこから流れるパワーのすごさを私

達は伝えたいです。

二、自然治癒力を思い瞑想をします。

自然治癒力の思いを聞きます。心の中に、自然治癒力の思いが語ってきます。私は自然治癒力を伝えていきます。田池留吉、アルバートの世界はすべて、すべてを癒していく世界。そうなんです。あなた方の肉体細胞はもちろんのこと、すべての宇宙にあるすべてを癒していくパワー。温かな、温かな、優しい、優しい温もり、その広がり。

はい、自然治癒力は語ります。はい、その思い、とても、とてもすごい世界です。

自らを癒すパワー、これから惜しみなく宇宙に発信していくことを感じます。自らを癒していくんで

す。すべての意識達を癒していく、すべての意識達に思いを向けていくこの力、このパワー。ああ、私は今、心に感じています。田池留吉、アルバートという表現ですが、私は今心に感じているこの世界、この世界がすべて癒していく、自らを癒していく。それは喜び、喜び、喜びのパワー。すべてを包んでいく喜びのエネルギー。喜びだけが存在する世界です。

三、自然治癒力に齒向かってきたエネルギーを感じます。それが人間社会の繁栄と栄光を築きました。自然治癒力、宇宙に齒向かってきたエネルギーのもとで築き上げられた世界。その世界に本当の喜び、幸せなど訪れるはずはありません。

自然治癒力に歯向かってきたエネルギーというものは、とても、とてもすごいです。すべてを破壊していくエネルギーです。

ああ、自然治癒力とは、すべてを癒し、すべてを生かしていくエネルギーです。そのエネルギーに対抗してきた、そんな人間達の歴史を、どうぞ、心で知ってください。はい、自然治癒力に思いを向けたとき、その思いがストレートに響いてきます。

私は、田池留吉、アルバートの意識です。

田池留吉、アルバートを思いなさい。その宇宙を思いなさい。次元移行ですと、私はこれまで、たくさんたくさん伝えてきました。もうその思いは、すべて、すべて伝えてき

ました。ただ、人間の心の中に巣くう他力のエネルギーの中で、私達の思いをストレートに心で受けることは難しいです。

しかし、それを私は、自然治癒力という方面から皆さんの心に伝えていこうと思います。

学びに集ってきた人達にせめて、自分の肉体細胞から何かを感じていってほしい。田池留吉、アルバートの世界、宇宙はよく分らなくても、自分の肉体細胞に異変が起きれば、その悲鳴を聞けると思いますが、その悲鳴を聞ける優しい思いに触れてほしい、せめてそうなっていただければと思います。今世はそれだけでも充分だと思えます。

やがて、どなたもその肉体細胞は朽ち果てていきます。何らかの原因で朽ち果てていきます。その前に大

病を患う人達もいるでしょう。そんな時、あなたの肉体細胞に心に向けられる優しさ、温もりを、どうぞ、どうぞ学んでから、その肉を置いていってくださいと私は伝えたいです。

皆さん、死を恐怖しています。やはり、その肉体生命を閉じることに、大きな、大きな恐怖を抱えています。

田池留吉、アルバートを思いなさい、自分の肉体生命が危うくなったときに、私がそのように言ってみても、他力信仰の心の状態では、その思いがなかなかストレートに響いてきません。

しかし、これしかないんです。そうなったときに、自分自身の肉体細胞を思うこと、身近なところから、私、田池留吉が伝えてきたことの真



意を、ほんの少しでも心で分つていただきたい、私はそのように思っています。

四、自然治癒力は、田池留吉が授けるものではないんです。お間違えないように。

あなたの心を、田池留吉、アルバートの世界に合わせ、しっかりと心を見つめ、自分の中の狂い間違い続けてきたエネルギーを心で知り、その思いとともに、田池留吉、アルバートの世界を思う。

心の針をしっかりとお母さんの温もりに向ける。  
温もりで自分を優しく抱きしめる。

そのような作業を通して、あなたの中からどんどん自分を解放していく喜びを感じていく。

その過程で、自然治癒力というものがあなたの肉体細胞に作用していきます。

田池留吉が授けるものではありません。あなたの中のパワー、本来のパワーがあなたの肉体細胞に作用していく、そういうことなんです。

お間違えのないようにしてください。  
他力で求めるものではありません。そのあなたの心を見てくださいます。私は伝えます。

そして、上記の作業がどんどん自分の中ではかどっていけば、自然治癒力の世界が本当に心で感じられます。それは、まさしく田池留吉、アルバートの世界。その喜びが心に響き渡ります。もちろん、肉体細胞が躍動している喜びを感じます。心

の底から元気になります。心の底から元気でない、本来の学びはできません。

五、自然治癒力、目新しい言葉ではありません。しかし、今、私達は田池留吉、アルバートの世界から発せられた自然治癒力をお伝えしていきます。

その世界のすごさ、素晴らしさ、本当のパワーの世界が、肉体細胞の病んでいる箇所には作用すれば、どのように変化していくのか、ともにその過程を学んでいきたいです。

肉体細胞が病む、身体的に不調和である、精神的に不安定だ、そのような現象は、肉を持つ人間にとって大きな苦痛です。確かに苦痛です。しかもそれが生命の危機ともなれ

ば、それは切実な問題です。しかし、だからこそ大きなチャンスです。心の針を田池留吉、アルバートにただひたすら向ければどうなるか、ご自身の体験を通し学んでいきませんか。

真剣に真摯しんしに自分と向き合い、自分の肉體細胞と向き合い、お母さんありがとう、本当にありがとう、肉をくれてありがとう、本当に心の底の底からその思いと出会い、死んでいったなら幸せだと思いませんか。そして、できれば元気になって、田池留吉、アルバートの世界、その宇宙を、その波動の世界をもう少しご自分の心で感じていく方向に行ければ、こんな幸せなことはないのではないでしようか。

ともに学ばせてください。田池留吉、アルバートの世界の喜び、幸せ

をともに学んでいきたいです。

六、どうぞ、肉體細胞の思いを聞いてあげてください。

あなたの肉體細胞はどんな思いを伝えてくれているでしょうか。

そして、あなたはご自分の肉體細胞にどのような思いを向けてきたでしょうか。それとも、全く無頓着でしたか。

疲弊ひへいした肉體細胞でさえ、最後の最後まであなたに伝えていきます。

お母さんの心をあなたに伝えていきます。

骨も血も筋肉もその他みんなそれぞれ役割を喜んで担ってくれているはずです。その喜びに沿うように、どうぞ肉體細胞とともに生きていきましょう。

薬その他の方法によるある程度の処置は必要かもしれませんが。しかし、それはあくまで一時的な補助的なものでしかありません。

ある程度、肉的に改善をしておいて、そして、それからもうひたすら、田池留吉、アルバートに心に向けること、これ一本です。

これは、信じる者は救われるといった低次元のものではありません。

本当に心の針を田池留吉、アルバートの世界に合わせる、ピタリと合わせることはできないにしても、その針がほんの少しずつでも動いてきたならば、そこにどんなことが起こってくるのか、あなたの肉體細胞から学んでいけばいいのではないでしようか。

ただし、この道は厳しいです。し

かし、肉体細胞は伝えます。

「やってください。私達の思いを聞いてください。あなたは間違っていました。」

七、点滴の経験すらない私には、自然治癒力と言われても、例えば指先の傷がいつの間にか治っているとか、その程度にしか認識はありません。

しかし、私の意識の世界は違っていました。

自然治癒力に思いを向ければ、私が語ります。

はい、そこには喜びしかありません。喜びのエネルギーしかありません。喜びのパワー、喜び、喜び、喜びの世界です。

はい、自然治癒力と思うだけで喜びです。田池留吉、アルバート、は

い、アルバート、ありがとうございます。アルバート、ありがとうございます、ありがとうございます。本当にアルバートを思える。自然治癒力という言葉からアルバートを思える。アルバートを思えば自然治癒力、宇宙、喜び、そのように私の中で一体となつて迫ってきます。

私は、その中でただただ思いを向けていくだけです。これが私の世界でした。心の中にその世界が広がっています。

はい、私はいつも通り生活をしています。その中でふうっと、私はアルバートを思います。自然治癒力を思います。田池留吉を思います。そうすれば、すべてが一体となつて、喜び、喜び、喜びの世界が広がっていきます。意識の世界です。いいえ、実感です。

八、田池留吉、アルバートの世界を確立していくことは、自然治癒力を高めていくこと、私は、それに対しても証し人だと思っています。私の肉体細胞に思いを向けます。

はい、肉体細胞の喜びを私は日々感じています。肉は愚かです。その肉体細胞の喜びを日々、感じていますが、私の肉は愚かです。はい、それを私の肉体細胞が伝えてくれます。

はい、嬉しいです。私はその肉体細胞の思いを感じています。肉体細胞があればこそ、私は、この喜びを感じていける。この肉があればこそ、この今の喜びを感じていけるん

です。

私はそう、この肉体細胞とともに歩いてまいります。肉体細胞が私を支えています。私の身体は元気です。健康です。本当にお母さん、ありがとうございます。心の中にその思いが広がってきます。

私の中には、田池留吉、アルバート、その世界、その宇宙が心に広がっていくのが分かるんです。

私の肉は愚か。肉は愚かだけど、私の意識の世界、意識の世界がこの肉を引っ張ってくれています。

それが私にはとても嬉しいです。肉の愚かさを、今心に感じています。

愚かな肉を持つて、この肉体細胞とともに歩いていくこの道、この道を充分、充分心に感じる日々です。

本当にありがとうございます。田

池留吉、アルバート、心の中より本当にありがとうございます。

私は、あなたにこの思いを伝えたいです。

私の意識の世界はすごいです。すごい世界が広がっています。はい、愚かな肉は、私の意識の世界をますます心に感じていくでしょう。私はこの肉体細胞に伝えます。だから、はい、愚かな肉よ、肉体細胞の思いをもっと聞きなさい。もっと聞いて、あなたの思いもまた伝えていくんです。

そうすれば、肉体細胞はますます自然治癒力を高めていくでしょう。

あなたは元気でこの思いを皆さんに伝えていく。私は、そのことを伝えます。ありがとうございます。

田池留吉、アルバートありがとうございます

ございます。二五〇年後に続く道、しっかりと心に感じていきます。ありがとうございます、ありがとうございます、ありがとうございます。はい、ありがとうございます。

私は、田池留吉の世界を自分の中で広げていくことを喜びとしています。

この肉体生命が続く限り、私は私の時間の中で瞑想を続けていきます。

私の世界が広がっていきます。田池留吉、アルバート、心よりありがとうございます。ありがとうございます。

再び、肉体細胞を思い瞑想をしました。はい、私の肉体細胞が語ってくれました。

はい、私達はあなたのその道、田池留吉、アルバートへの道を惜しみなく協力させていただいています。

肉体細胞が生き生きとして活動していくことを喜んでください。ただただこの道を、ただただこの道をひたすら真つ直ぐに、田池留吉、アルバートの意識とともに歩いていきなさい、その思いを私達肉体細胞は流しています。

心よりありがとうございます。私達肉体細胞の思いを素直に受け入れてくださり、ありがとうございます。私達肉体細胞は、ますます元気に活動していくでしょう。私達は、それを自然治癒力と呼んでいます。自然治癒力はあなたの中で活性化されていきます。肉体細胞が活性化されていきます。喜び、喜びの道

を歩いていきましょう。田池留吉に心を向けること、田池留吉、アルバートを心で呼べること、素直に心に広げていけることを喜んでください。あなたの意識の世界は広がっていきます。

お母さんに、ただただありがとうございます。お母さんの思いを心に広げ、そして、ますます田池留吉、アルバートの世界を心に広げていきなさい。

九、私は、幼い頃は身体が弱かったけれど、小学四年生の時に、扁桃腺へんとうせんの手術をしてから今現在まで、ほとんど病氣らしい病氣はありません。ただし風邪を引いて、のどが痛くなれば、咳にきます。咳はしつこく出ます。強いて言えば気管支が弱いです。

その気管支周辺の肉体細胞に思いを向けたとき、肉体細胞を切り捨てた私のエネルギーを感じます。しかし、切り捨てられた肉体細胞は私に伝えてくれています。はい、喜びのあなたですと伝えてくれます。

肉体細胞の思いを感じ、ただただ嬉しいです。ありがとうございます。

そう言えば、数年前、親知らずの歯が痛んだことを思い出しました。あの時、抜歯するのに、医療器具が口の中にぎりぎり入るかどうかしか口が開けられないまでになっていたことを思い出しました。あの時、その部位に思いを向けて瞑想をしたときに肉体細胞が伝えてくれた優しさ、思い、波動は、今回と全く同じでした。それをふっと思い出

しました。

そうです、肉体細胞はいつも私に伝えてくれていました。田池留吉、アルバートの温かい、温かい優しい波動を流してくれていました。

親知らずの歯の根っこは膿で腐っていたけれど、その痛みが私の心に優しい温もりと、喜びの思いを伝えてくれたことを思い出します。

気管支も、親知らずの歯も、私に確かに伝えてくれました。肉体細胞の存在と肉体細胞の思いを伝えてくれました。肉体細胞に思いを向ければ、私の心に響いてくる世界があります。肉体細胞の思いを聞いて、波動の世界の喜びを感じることができんです。肉体細胞から喜びを感じることができ、それがただだ

だ嬉しいです。

肉体細胞に思いを向けながら、私は生きてまいります。そして、この心をもっと、もっと見つめてまいります。

凄まじいエネルギーを流し続けてきたけれど、今、元気に生活が続けられるのも、自然治癒力が働いているからです。肉は気付かないうちに、肉体細胞が活性化されている、喜びのエネルギーが働いている、そう実感します。

すべてはアルバートの宇宙の中で為されていることです。アルバートから遠い思い、エネルギーを出せば出すほど、本来の動きが妨げられ、肉体細胞に支障をきたすことは明らかであり、法則といっても過言ではありません。

不都合な肉体を治そうという思

いではなく、ただただアルバートの宇宙に帰っていきたい、アルバートとひとつの世界へ戻りたい、その思いで自分の心を見つめ、私達細胞に優しい思い、母親の温もりを届けてください。

母親の温もり、そして、優しい思いに私達細胞は心から応えていきます。それが私達の喜びだからです。



## 《U T A会からのお知らせ》

### ● U T A会状況とお知らせ

1) 2011年度U T A会の4月20日現在の会員数は以下の通りです。

- ・正会員 850名（海外在住者19名含む）
- ・準会員 37名（海外在住者3名含む）

2) 今年度の発行予定

2011年

5月 冊子「その人、田池留吉 第1巻（ホームページより）」発送

機関誌「U T A会だより第5号」発送

第6回U T A会開催（29日～31日）

7月 第7回U T A会開催（10日～12日）

8月 冊子「その人、田池留吉 第2巻（ホームページより）」発送

9月 第8回U T A会開催（4日～6日）

10月 冊子「その人、田池留吉 第3巻（ホームページより）」発送

11月 機関誌「U T A会だより第6号」発送

12月 第9回U T A会開催（18日～20日）

2012年

1月 冊子「その人、田池留吉 第4巻（ホームページより）」発送

※ 以上を予定していますが、変更になる場合もあります。また、これ以外にも新刊本の図書館への寄贈、本の音訳C Dの視覚障害者施設への寄贈が予定されています。

3) 今年度のU T A会の開催予定

今年度は、年4回の開催を予定しています。開催日時は、以下の通りです。

◆第6回U T A会	5月29日（日）～31日（火）／前日泊 5月28日（土） 申込期間4月18日（月）～5月9日（月）／キャンセル連絡日5月13日（金）
------------	---

◆第7回U T A会	7月10日（日）～12日（火）／前日泊 7月9日（土） 申込期間6月1日（水）～6月20日（月）／キャンセル連絡日6月24日（金）
------------	--

◆第8回U T A会	9月4日（日）～6日（火）／前日泊 9月3日（土） 申込期間7月25日（月）～8月15日（月）／キャンセル連絡日8月19日（金）
------------	---

◆第9回U T A会	12月18日（日）～20日（火）／前日泊12月17日（土） 申込期間11月7日（月）～11月28日（月）／キャンセル連絡日12月2日（金）
------------	--

※ キャンセル連絡日の翌日より、キャンセル料が100%かかります。

4) 2010年度U T A会 会計報告

(2010年4月1日～2011年3月31日)

収入の部	収入	支出	残高
前年度繰越金	1,651,283		
正会員 年会費 905名分(3月31日現在897名)	8,873,000		
正会員 退会による返金 8名分		48,000	
雑収入、及び、過入金分の返金	4,000	1,000	
小 計	10,528,283	49,000	10,479,283
支出の部	収入	支出	残高
[正会員への配布物] 本1冊、冊子6冊、機関誌3冊の 制作費、及び発送費		4,150,437	
[図書館、及び視覚障害者施設への寄贈] 本2冊(1954館)、音訳CD2本(200館)の 制作費、及び発送費		1,943,229	
[運営経費] ホームページ運用、通信費、発送費、 事務用品費、人件費等		748,877	
小 計		6,842,543	
2010年度 U T A会 経費合計残高	収入	支出	残高
収入の部 合計	10,528,283		
支出の部 合計		6,891,543	
合 計	10,528,283	6,891,543	3,636,740

(単位：円)

5) 今年度、2011年度のU T A会セミナー代金について

上記、前年度の会計報告にもありますように、前年度は繰越金が発生しましたので、それを今年度、2011年度のU T A会セミナー料、4回分すべてに充当したいと思います。充当の内訳は、以下の通りです。

大人1泊につき500円を充当し、10,000円のところを9,500円とします。

2泊では、20,000円が19,000円になります。

但し、前日泊、及び幼児・小学生代金に関しましては、今まで通り変更はありません。

また来年度、2012年のU T A会セミナー代金に関しましては、今年度の繰越金を見て決めさせていただきたいと思っております。



## ● 次回のU T A会セミナーのご案内

### 1. 開催日時と場所（遠方から参加される方のために、前日泊も設けています）

#### ① 開催日程

##### ◆第6回U T A会

2011年5月29日（日）～31日（火） 参加人数 800名

2011年5月28日（土） 前日泊 参加人数 300名

29日（日） 13:30～17:00（12:00開場）

席決めの抽選を12:45より行います。

30日（月） 10:00～17:00

31日（火） 10:00～12:00（会場は14:30まで使用できます）

【申込受付期間】 2011年4月18日（月）～5月9日（月）

【キャンセル連絡日】 2011年5月13日（金）

#### ② 会場 琵琶湖グランドホテル

〒520-0101 滋賀県大津市雄琴6-5-1 / TEL 0775-79-2111

### 2. 参加申込日程と参加料金

申込日程		会員料金
前日泊	夕食・朝食付	10,500円
前日泊+全日程	3泊4日8食付	29,500円
前日泊+前半1泊	2泊3日5食付	20,000円
全日程	2泊3日6食付	19,000円
前半1泊/後半1泊	1泊2日3食付	9,500円

※ 初めて参加される方の参加料は、会員と同じです。但し、会員でない方のU T A会参加は、初回のみとさせていただきます。

※ 小学生、幼児は別料金になりますので、ホームページをご参照ください。

※ 料金には、セミナー会場使用料も含まれています。

### 3. 申込方法について

① 申込期間内に、お近くの郵便局に備え付けの青い振替払込書にて、U T A会セミナー料金をお振り込みください。それで受付とさせていただきます。

② 振替払込書に、氏名、会員番号、申込日程を、必ず明記してください。布団、食事を必要としないお子様の名前、年齢も、必ず明記してください。

※ 複数名でお申し込みの場合は、それぞれの氏名、会員番号、申込日程を必ず明記してください。

※ 同室希望については、第3回U T A会より同室希望の受付条件を、病気の方や介護が必要な方とそのお世話をされる方、また、小さなお子様のいるご家族の方のみに、変更させていただきました。

同室を希望される方は、お手数ですが同室希望の理由と、それぞれの氏名を、必ず明記してください。

但し、ホテルの部屋の都合上、ご希望に添えない場合がありますので、ご了承ください。

※ 会員でない方が、初めて参加される場合は、振込払込書に、氏名、申込日程、住所、電話番号、性別、年齢、メールアドレスを明記してください（性別、年齢等はU T A会の部屋割りに、メールアドレスは受付確認メールの送信に必要となります）。但し、会員でない方のU T A会参加は、初回のみとさせていただきます。なお、会員でない方の参加は、今までに開催されたセミナー、勉強会等に一度も参加されたことのない、まったく初めての方のみ、受け付けさせていただきます。

※ 交通機関のご都合等で、U T A会最終日に昼食が不要の方は、「食事不要」と振込用紙に記載して下さるよう、お願いいたします。

③ 振込先（振込口座番号、入金金額は、必ず確認をお願いいたします）

口座番号：01700-5-140092

加入者名：U T A会

④ 入金の確認ができ次第、U T A会受付確認のメールを送信いたします。

なお、郵便振替払込書がこちらの手元に届くまでには4日間ほどかかりますので、確認メールの到着までには、一週間ほどお待ちください。また、メールアドレスをお持ちでない方へは、ハガキにてお知らせいたします。

#### 4. キャンセルについて

- ・キャンセル連絡日までのキャンセルはメールで、また、キャンセル連絡日を過ぎたのキャンセルは、必ず次ページの電話番号まで連絡をお願いいたします。
- ・キャンセル連絡日までのキャンセル料は、無料です。
- ・キャンセル連絡日を過ぎたのキャンセル料は、総額の100%です。
- ・U T A会当日にキャンセルされる場合でも、必ず電話連絡をお願いいたします。

#### 5. 参加についてのお願い

- ・参加のお申し込みは、必ず、期間内をお願いいたします。
- ・義務教育中のお子様の学校を休んでの参加、または幼児、小、中学生の保護者同伴なしでの参加は、ご遠慮ください。
- ・家族（夫、妻、舅、姑、子供…）に、U T A会への参加を反対されている人、または家族、職場に対して嘘をついて参加することは、ご遠慮ください。
- ・参加費用を借金してU T A会に参加することは、ご遠慮ください。
- ・ホテルや他の宿泊客に迷惑をかける人、またはU T A会の進行を妨げるような行動を取る人は、参加をご遠慮ください。
- ・参加者同士がトラブルを起こした場合、当事者間で解決が見られるまで、参加をご遠慮ください。

- ・セミナー期間中の個人的な物品の販売は、ご遠慮ください。

## 6. セミナー会場の座席、及び開場時間についてのお願い

毎回、セミナー会場での座席は抽選くじで決めさせていただいておりますが、最近、抽選くじで当たった番号以外で座る方や、友達同士で抽選くじ番号以外で纏まって座る方々がいるなど、参加者の方々から苦情が寄せられております。また、セミナー会場の椅子席が足りなくなる状況が出ています。そこで、セミナーに参加される皆様へのお願いです。

### ① 座席について

セミナー会場での座席は、田池先生ご夫妻、塩川さん親子、U T A 会責任者の久保夫妻の6人以外の方は、必ず、抽選くじを引いて、当たったご自分の番号でお座りください。友人等、他人の番号で座るのはおやめください。

また、家族で参加されている方は、抽選くじは家族で1枚引いていただき、その番号でお座りください。

なお、初参加の方の席は、こちらで「初参加者席」という紙を置いた席を用意しますので、そちらにお座りください。初参加者を紹介された方も一緒に座ってくださって結構です。

### ② 椅子席について

毎回、足の悪い方、ご病気の方、高齢の方、初参加者のために、椅子席を用意しております。セミナーは床に座って受けていただくのが基本となっております。ご事情により、長時間、床に座るのが辛い方のための椅子席ですので、健康な方は抽選くじを引かれて、床に座ってご参加ください。

### ③ セミナー会場の開場時間について

セミナー会場の開場は12時です。セミナーの準備等がありますので、開場時間前にセミナー会場に入るのはご遠慮ください。開場時間まで、ロビー等でお待ちください。

※ セミナーに参加されている方は、どなたも前へ座りたいというお気持ちは分かりますが、抽選で座席を決めるというルールをお守りいただきたいと思っております。

なお、抽選時間前にハンカチ等で座席を取られている場合、また、12時開場前に椅子席にハンカチ等で席を取られている場合は、ハンカチ等を撤去させていただきますので、予め、ご了承ください。

## 7. 会場ホテルへのアクセス

- ・電車をご利用の方

大阪・東京方面→JR 京都駅→JR 湖西線「おごと温泉駅」下車(JR 京都駅より20分)  
→琵琶湖グランドホテル (JR おごと温泉駅よりホテルの送迎バスにて5分)

- ・自動車をご利用の方

大阪・東京方面→名神高速道路 京都東 IC →西大津バイパス仰木雄琴 IC →  
国道161号線→琵琶湖グランドホテル (仰木雄琴 IC より2分)

【連絡先】

- ・お問い合わせは、U T A会サポートまでメールでお願いいたします。  
メールアドレス：support@utakai.net
- ・キャンセル連絡日までの変更、及び、キャンセルは、上記U T A会サポートまでメールで、キャンセル連絡日を過ぎての変更、及び、キャンセルは、下記まで電話でご連絡ください。  
幹事長 久保明子 TEL 042-771-9100

U T A会のホームページでもセミナーの案内等を掲載していますので、ぜひ、ご参照ください。

U T A会ホームページ：http://utakai.net/utakai/index.html



◇◇◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇◇◇

◇ U T A会も早いもので3年目に入りました。今年度も、よろしくお願ひいたします。4月になったら、まず皆様に冊子をお配りする予定にしていたのですが、今回の東日本大震災で、宅配業者の配送が東北地方では滞っているということでしたので、落ち着くまで、少し時間を置くことにしました。

◇ 「愛」のTシャツですが、多くの方に申し込んでいただき、本当に、ありがとうございました。申込期間の初めの頃は、申し込みの数が少なく、どうしようかと心配しましたが、最後のほうで、本当に多くの方の申し込みを頂き、ホッとしました。前もってTシャツの発送用にと注文した袋のサイズが思っていたよりも小さく、袋にTシャツが収まらずに梱包には手間取り、皆様には、ご迷惑おかけいたしました。

すべてのTシャツの発送が終わり、そろそろ皆にTシャツが届いた頃だと思ったとき、あの震災が起こりました。東北地方の方も申し込まれていましたので、無事届いたかどうか気になり、宅配業者のホームページ上で追跡調査を行うと、皆、その日の午前中に配達完了となっていましたので、良かったと思いました。

◇ 桜の咲く頃にこのU T A会だよりも届くようにと思っけていましたが、第6回U T A会セミナーの申し込みが先に始まってしまいました。今年度の4回のU T A会セミナーは、セミナー料金が安くなっているので、その案内をセミナー前にお知らせしようと思ったのですが、今、皆様の申込用紙の束を横目で見ながら、U T A会だよりを仕上げています。(中村)